

EdgeGateway MELSEC to MQTT マニュアル(拡張機能)



はじめに

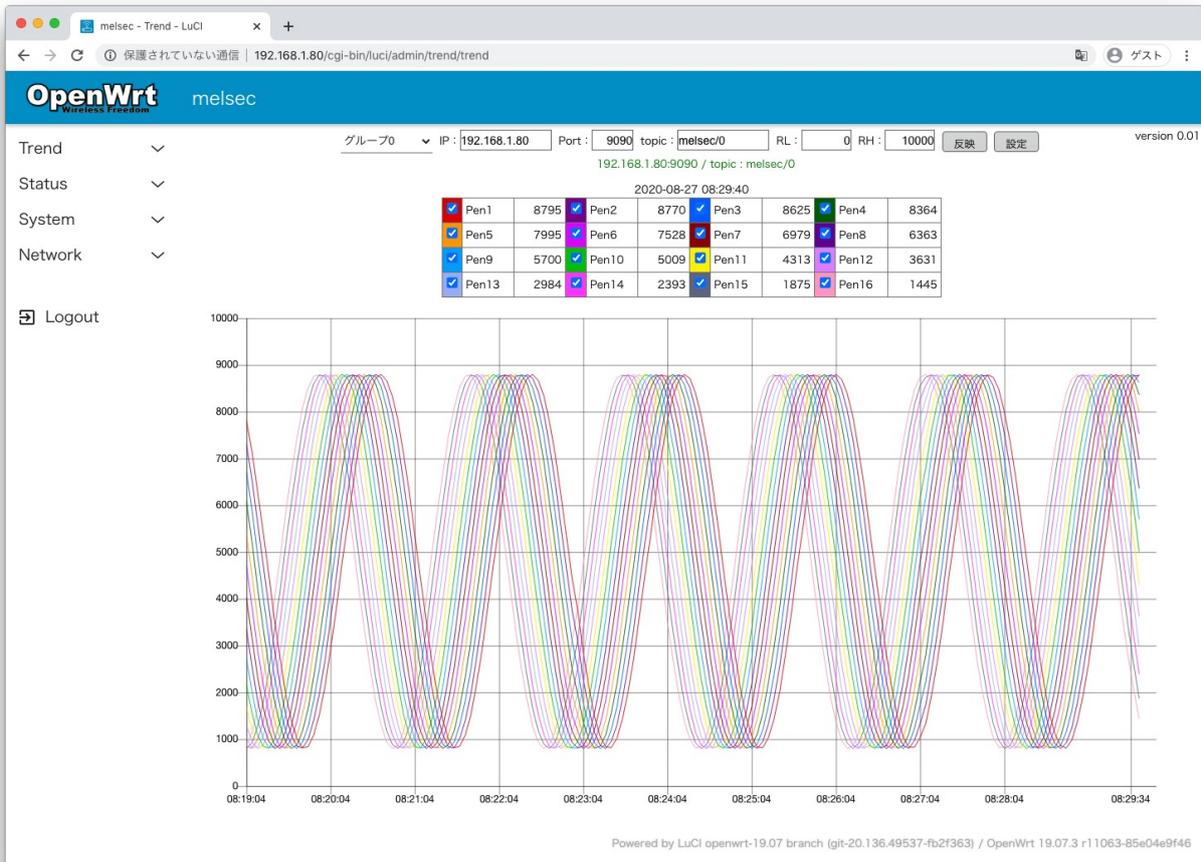
本機器は、汎用ルータに弊社の拡張機能(MELSEC to MQTT)を追加したものです。
 Chrome 等のブラウザで、リアルタイムなグラフ表示や通信設定が行えます。

※重要: 側面の Reset ボタンを 5 秒以上押さないで下さい。拡張機能が失われ、復元出来無くなります。

仕様

- ・MELSEC
 Ethernet 付き CPU または Ethernet ユニット。(接続局のみ)
 MC プロトコル(QnA 互換 3E フレーム、バイナリ。)
- ・MQTT 機能
 MQTT/MQTTS プロコル対応。
 ブローカ機能実装。

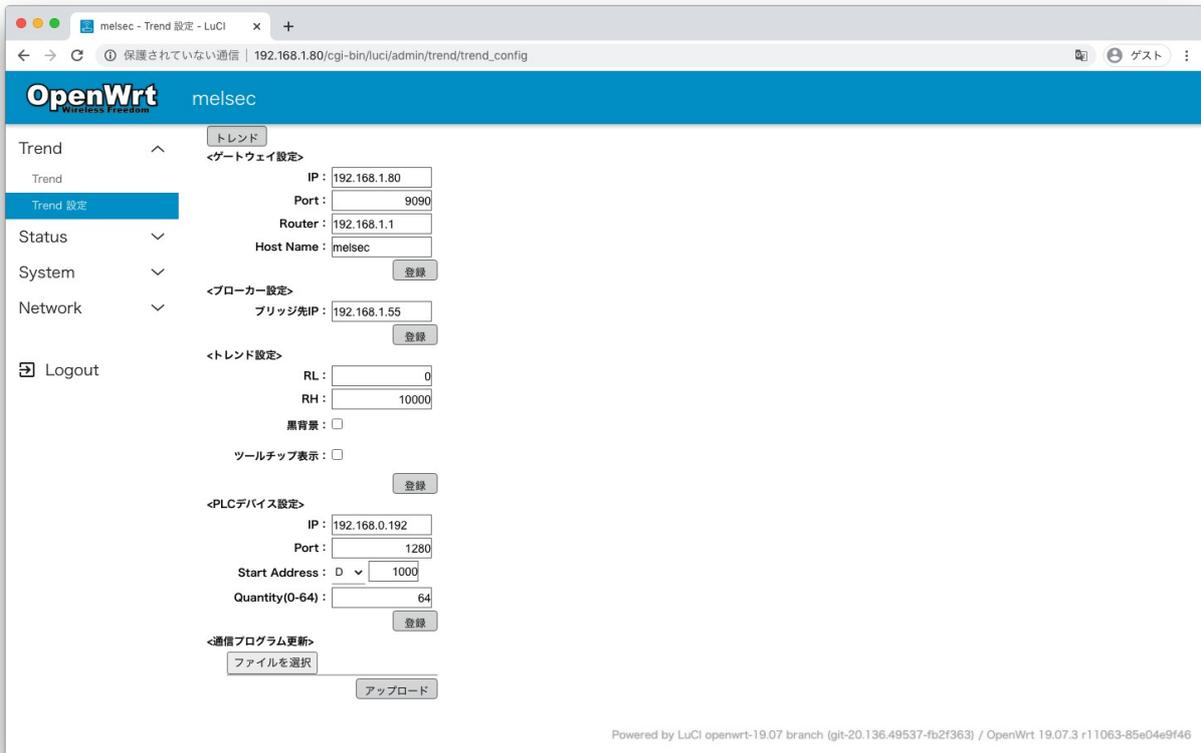
メイン画面



- ・グループ0~3の切り替え表示(グループ毎 16 ペン)
- ・IP: 接続先 MQTT ブローカーの IP アドレス
- ・Port: 接続先 MQTT ブローカーのポート番号
- ・topic: 接続先 MQTT ブローカーのトピック名
- ・RL: グラフ下限レンジ
- ・RH: グラフ上限レンジ
- ・「反映」ボタン: IP:~RH:の反映

「メイン画面」の上部の各種設定欄は一時的なものです。(画面更新等でデフォルト値に戻ります。)
 恒久的なデフォルト値の設定には、「設定」ボタンより展開される「設定画面」で行います。
 リアルタイムなトレンドグラフの為、履歴データによるグラフ表示は出来ません。
 履歴データのグラフ表示には、弊社ペーパーレスレコードシステムを御用命下さい。

設定画面



<ゲートウェイ設定>

- ・IP:本機器の IP アドレス
- ・Port:本機器のポート番号
- ・Host Name:本機器の名前(MQTT のトピック名となる為、必ずユニークな名前を指定して下さい。)

<ブローカー設定>

- ・ブリッジ先 IP:本機器と接続する相手先のブローカー IP

<トレンド設定>

- ・RL:グラフ下限レンジ
- ・RH:グラフ上限レンジ
- ・黒背景:背景色。
- ・ツールチップ表示:マウスオーバーした位置の各ベンデータをポップ表示

<通信デバイス設定>

- ・IP:接続先 MELSEC の IP アドレス
- ・Port:接続先 MELSEC のポート番号
- ・Start Address(0-64):例では、開始 D1000 から 64 ワードの読み出し(最大読み出し点数は 64 ワード)

<ファイル選択>

- ・弊社拡張機能プログラムを更新します。

※ ハードの仕様については、<https://docs.gl-inet.com/jp/3/hardware/mt300n-v2/>のサイトを参照下さい。

※ Status/System/Network についての説明は、<https://openwrt.org/ja/start>のサイトより入手下さい。